

26	スポーツ推進本部	パラスポーツの振興
事業概要	<p>「東京都スポーツ推進総合計画」（令和7年3月策定）及び「2050 東京戦略」（令和7年3月策定）に基づき、「理解促進・普及啓発」「場の充実」「人材育成・活用」「競技力向上」の視点から、パラスポーツの振興に向けた施策を展開している。</p>	
これまでの経過	<p><b>1 理解促進・普及啓発</b></p> <p>(1) 東京2020パラリンピック以降もパラスポーツが継続して社会に根付く土壌を作るため、パラスポーツを応援する人を増やすプロジェクト「TEAM BEYOND」により総合的な普及啓発事業を実施</p> <p>(2) パラスポーツ全般の競技体験やアスリートによるデモンストレーション、競技紹介パネル等の展示など、パラスポーツの魅力を体験できるプログラムを区市町村や大学等と連携して実施</p> <p>(3) 競技団体が主催するパラスポーツの国際大会の開催を促進し、ハイレベルな戦いを観戦できる機会を都民に提供</p> <p>(4) 障害のある人もない人も共に楽しめる参加体験型スポーツイベント「チャレスポ！ TOKYO」を開催</p> <p>(5) 都内のパラスポーツイベント情報や、公共スポーツ施設のバリアフリー情報等を掲載したパラスポーツ専門ポータルサイト「TOKYOパラスポーツ・ナビ」を運営</p> <p>(6) パラスポーツムーブメントの拡大に向けて、パラリンピックを開催した8・9月を「TOKYOパラスポーツ月間」と位置付け、多様な主体と連携してパラスポーツの魅力を発信する様々な取組を実施</p> <p>(7) 東京2025デフリンピックの開催時期にあわせて、競技観戦や応援などの盛り上げにつなげるとともに、デフスポーツを含むパラスポーツへの関心・理解の一層の向上、共生社会の実現を図るイベントを実施</p> <p><b>2 場の充実</b></p> <p>(1) 「都立特別支援学校活用促進事業」により、障害のある人や障害者スポーツ団体等が、身近な地域でスポーツ活動ができるよう、都内にある都立特別支援学校の体育施設を学校教育活動に支障のない範囲で平日夜間や土日・祝日に貸し出すとともに、障害の有無にかかわらず参加が可能なパラスポーツやスポーツ・レクリエーションの体験教室を実施</p> <p>(2) 障害のある人が身近な地域で継続的にスポーツを楽しめるよう、区市町村が主体的に取り組むパラスポーツ事業やスポーツに親しめる環境を推進する工事を財政的に支援</p> <p>(3) 「パラスポーツ地域サポート事業」により、パラスポーツ事業の企画・実施に関する相談や助言、パラスポーツ指導員の派遣、スポーツ用具の貸与を行い、区市町村や地域スポーツクラブ等の取組を支援</p> <p>(4) スポーツ施設における障害者の受け入れ対応の好事例等を紹介した「障害者のスポーツ施設利用促進マニュアル」を活用したアドバイザー派遣や普及を行い障害者がスポーツ施設を利用しやすい環境の整備を促進</p> <p>(5) バリアフリーに配慮したコースを選定しウォーキングイベント等を実施する「TOKYOユニバーサルウォーキング普及事業」により、障害の有無にかかわらず都民のウォーキングを促進</p> <p>(6) 遠隔操作によりコミュニケーションが可能な分身ロボットを活用し、外出困難な重度障害者等が体験教室やボランティア参加など「する・みる・支える・応援する」の様々なスポーツ活動に参加できる「パラスポーツリモート参加事業」を実施</p> <p>(7) 身体を動かしづらい人、外出が困難な障害のある人等に対して、障害特性ごとに取り組みやすいよう機器やプログラムを工夫したeスポーツの活用により、自宅や通い慣れた施設等の身近な場所で、気軽にスポーツ・運動を楽しめる機会を創出。また、障害の有無や場所を問わず楽しめるeスポーツの特徴を生かし、地域のスポーツや福祉関係のイベント、大規模展示会等へ出展することにより、デジタル技術を活用した障害者のスポーツ体</p>	

験機会の拡大や、障害のある人とない人との交流、理解を促進

- (8) 障害者の日中の居場所である福祉施設や放課後等デイサービスなどを対象に指導者を派遣し、利用者の障害種別や程度等に応じた運動を定期的実施することで、身体を動かすことの習慣化を図るとともに、スポーツ施設に出向いていただくきっかけを提供
- (9) 「パラスポーツコンシェルジュ」を設置し、障害のある人に対するスポーツに関する情報提供や助言を行うとともに、パラスポーツの支援に取り組む企業と競技団体等をつなぐ取組を実施
- (10) 企業のノウハウ等を活用して競技団体の課題解決につなげ、組織基盤の強化を図るとともに、パラスポーツへの企業の参画を促進し普及の担い手を増やすため、マッチングプラットフォームを構築して両者の活動を促進

### 3 人材育成・活用

- (1) 区市町村職員、教職員、スポーツ推進委員や医療福祉関係者等を対象にセミナーを開催し、地域におけるパラスポーツ振興のキーパーソンを育成
- (2) パラスポーツ指導員養成講習会を通じてパラスポーツの現場で実際に指導・支援に当たる人材を養成し、地域におけるパラスポーツの取組を促進
- (3) 研修会やフォーラム等の開催に加え、e-learning 講座の配信等により、障害者のスポーツ活動を支える人材の育成と資質向上を推進  
また、障害者スポーツボランティアポータルサイト「TOKYO 障スポ&サポート」を通じたボランティア募集情報の提供や、活動先とのマッチングにより、ボランティアの活動機会を拡充

### 4 競技力向上

- (1) 都内からパラスポーツの次世代を担う選手を輩出することを目的に、「パラスポーツ次世代ホープ発掘事業」を実施。競技体験会や競技相談会等を行う選手発掘プログラムや、専門家のサポートのもとスポーツ用義足・車いすのフィッティング等を行う事前体験会、スポーツ用車いすのレンタル、スポーツ理論に関する講習会等を実施し、競技者としてのスポーツ活動の継続・定着を促進
- (2) 国際大会で活躍する東京ゆかりのスター選手を継続的に輩出していけるよう、デフアスリートを含むパラアスリートの強化支援を実施。また、パラアスリートを支えるスタッフの活動環境整備を促進
- (3) 東京におけるパラスポーツ競技団体の選手の競技力向上等を目的とした活動を支援するとともに、ガバナンス等をテーマにした講習会の実施や、法人格取得支援等により競技団体の組織体制強化を促進
- (4) 障害者が身近な地域で気軽にスポーツを行える環境を整えるため、その受け皿となる地域のパラスポーツ競技団体・クラブの活動活性化に向けた支援を実施
- (5) 全国障害者スポーツ大会での東京都選手の活躍を目標に、大会正式競技の強化練習会を開催し、選手の競技力を強化
- (6) パラスポーツを通じて、自らの体力の維持・増進及び社会への参加と相互の交流を促進させるとともに、障害のある人に対する都民の理解の増進を図り、もって障害のある人の自立の促進とスポーツ振興に寄与することを目的に東京都障害者スポーツ大会を開催
- (7) 東京都障害者スポーツ大会・関東ブロック予選会の結果等を踏まえて選出された選手や役員で構成される選手団を全国障害者スポーツ大会へ派遣
- (8) 「東京パラスポーツ人材バンク」を運用し、都にゆかりのあるトップアスリート等が講師や指導者として活動する機会を創出
- (9) 東京 2025 デフリンピックに向け、デフスポーツの競技力を向上させるとともに、都民のデフスポーツへの関心を高めることを目的として、デフスポーツ中央競技団体が都内で実施する強化合宿や普及啓発活動等に対し、財政的支援を実施
- (10) 東京 2025 デフリンピックに向け、今後選手を発掘・育成していく必要のある競技について、競技力強化の取組を支援

現在の進行状況	<p>「東京都スポーツ推進総合計画」等に基づき、引き続き上記の事業を着実に実施するとともに、「2050 東京戦略」において、2035 年に「週 1 回以上スポーツをする障害のある都民（18 歳以上）のスポーツ実施率 50%以上」と「パラスポーツに関心のある都民の割合 80%以上」を政策目標とする。東京 2020 パラリンピックのレガシーを継承・発展させ、東京 2025 デフリンピックを機に東京に新たなレガシーを創出するため、パラスポーツを社会に根付かせていく様々な取組を行っている。</p>			
見今後の	<p>デフスポーツを含むパラスポーツの振興のため、パラスポーツを「する」「みる」「支える」「応援する」ための様々な環境整備を加速させる。引き続き、パラスポーツの理解促進・普及啓発、場の充実、人材育成及び競技力向上等に取り組んでいく。</p>			
問合せ先	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="233 557 975 642">スポーツ推進本部　スポーツ総合推進部　パラスポーツ課</td> <td data-bbox="975 557 1051 642">電話</td> <td data-bbox="1051 557 1439 642">03-5320-6286</td> </tr> </table>	スポーツ推進本部　スポーツ総合推進部　パラスポーツ課	電話	03-5320-6286
スポーツ推進本部　スポーツ総合推進部　パラスポーツ課	電話	03-5320-6286		